

ふれあい

治田小 学校だより

2024年2月9日

栗東市立治田小学校

NO.26

家庭科の学習の様子

先日、5年生の子どもたちが家庭科の学習をしている様子を参観しました。2つの学級を参観したのですが、その時の様子をお伝えします。

1つ目の学級は、調理実習です。地域の方に指導していただいて田植えをし、秋に自分たちの手で収穫をしたお米を炊き、みそ汁をつくりました。



《野菜を切っています。みんな真剣です。》

みそ汁に入れる大根や油揚げを切る子ども、にぼしを使って出汁をとる子ども、ご飯を炊く火加減を見る子ども等、それぞれが役割分担をしながら、手際よく調理をしていました。

調理をしていく中で特に子どもたちの注目が集まったのが、「ご飯が炊きあがっていく際のお米の変化」です。学校では炊飯の際には、「耐熱ガラス」の鍋を使います。そうすることで、お米の変化を観察することができます。「うわー、ぶくぶくしてきた。」「お米が回ってるで。」など、いろいろな感想を話していました。



2つ目の学級では、調理実習の事前学習を行っていました。タブレットを使って、「味噌」についての調べ学習です。「味噌に含まれる栄養素について」「味噌は、どんな地方でたくさんつくられているか」など、一人ひとりが興味を持ったことについて調べ、プリントに書き込んでいました。



「お米を炊く」「みそ汁をつくる」という作業だけではなく、食材が持つ栄養素等について学ぶことも「家庭科の大切な学習」です。

ご家庭でも夕食の際などに、「どこで採れた野菜なのか」「こんな栄養が含まれているよ。」などを話題にしていただけるとありがたいです。



校長 田中 覚